

日本とフランスの 学術交流に向けて

川口 裕司

東京外国語大学大学院総合国際学研究院

CAIRN : 人文科学と社会科学のジャーナルを通して学術分野における日仏関係の探究,
日仏会館・フランス国立日本研究所, 2019年6月5日

内容

1. 若者たちの国際交流
高等学校等の留学、高校生の留学動機、高等学校等におけるフランス語
2. 教養外国語としてのフランス語
大学等における教養外国語、アンケート調査、一つの解決策
3. フランス語による学術交流－実践例－
大学生の留学、学習者言語プロジェクト、ふらんぼー

1. 若者たちの国際交流

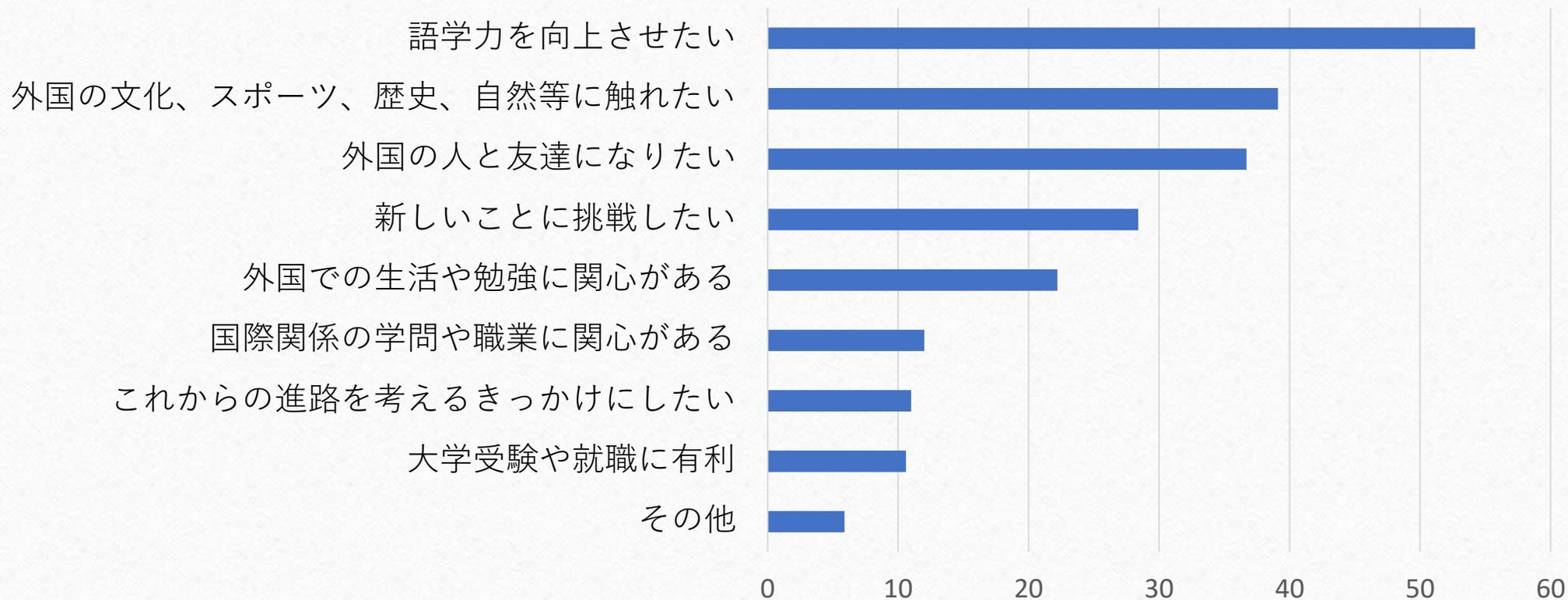
1. 1. 高等学校等の留学(3か月以上)

	学校数	留学国 ・地域数	アメリカ	ニュージー ランド	カナダ	オーストラリア	その他
国公立	562	40	482人	60人	99人	149人	351人
私立	538	39	763人	773人	692人	366人	462人

2016年5月1日現在。

「平成27年度高等学校等における国際交流等の状況について」,
文部科学省初等中等教育局国際教育課, 2015, p.2.

高校生の留学動機



2015年に無作為抽出された各高校の3クラスの生徒、560,633人を対象とした大規模調査。

「平成27年度高等学校等における国際交流等の状況について」, 文部科学省初等中等教育局国際教育課, 2015, p.10.

内向きの高校生？

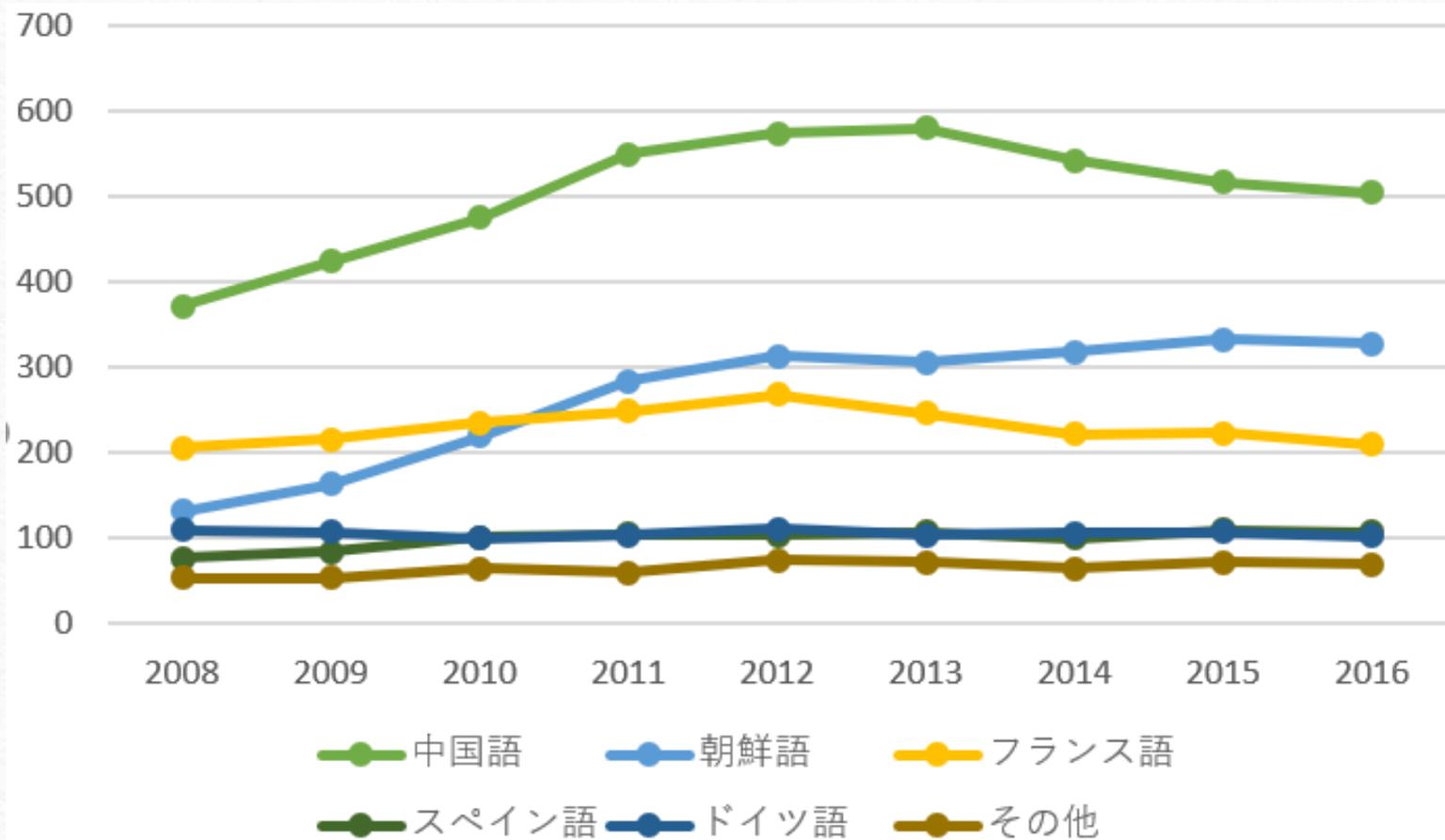
留学したい 39.7%

留学したいと思わない 60.3%



「平成27年度高等学校等における国際交流等の状況について」, 文部科学省初等中等教育局国際教育課, 2015, p.10.

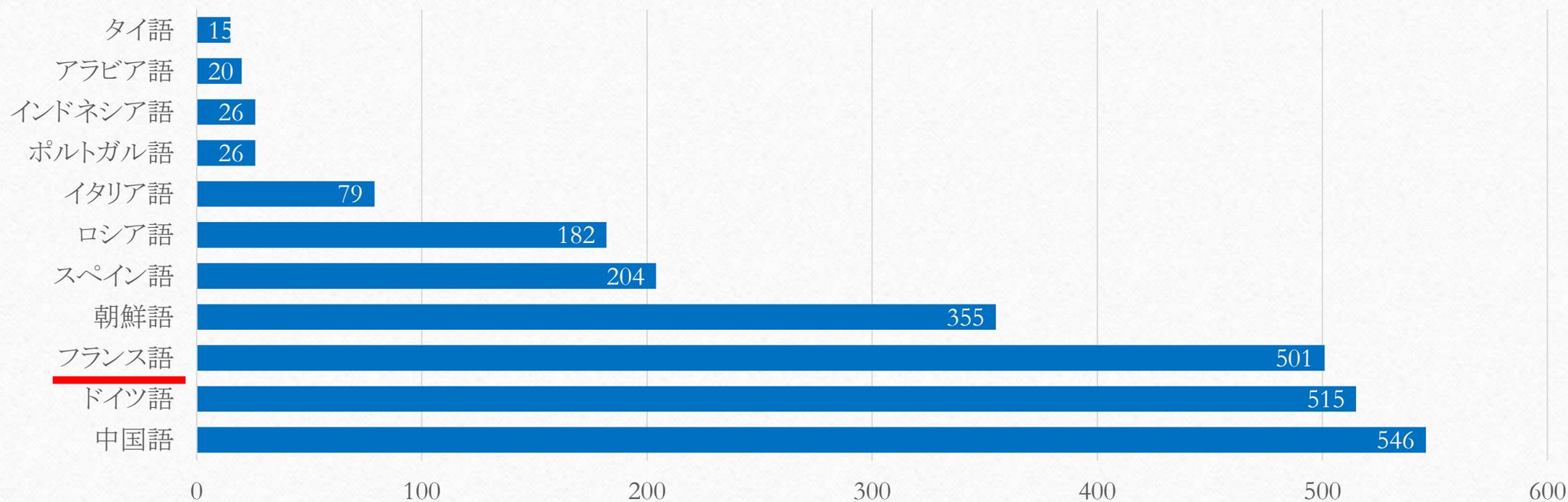
1. 2. 高等学校等における外国語・フランス語



「平成27年度高等学校等における国際交流等の状況について」, 文部科学省初等中等教育局国際教育課, 2017

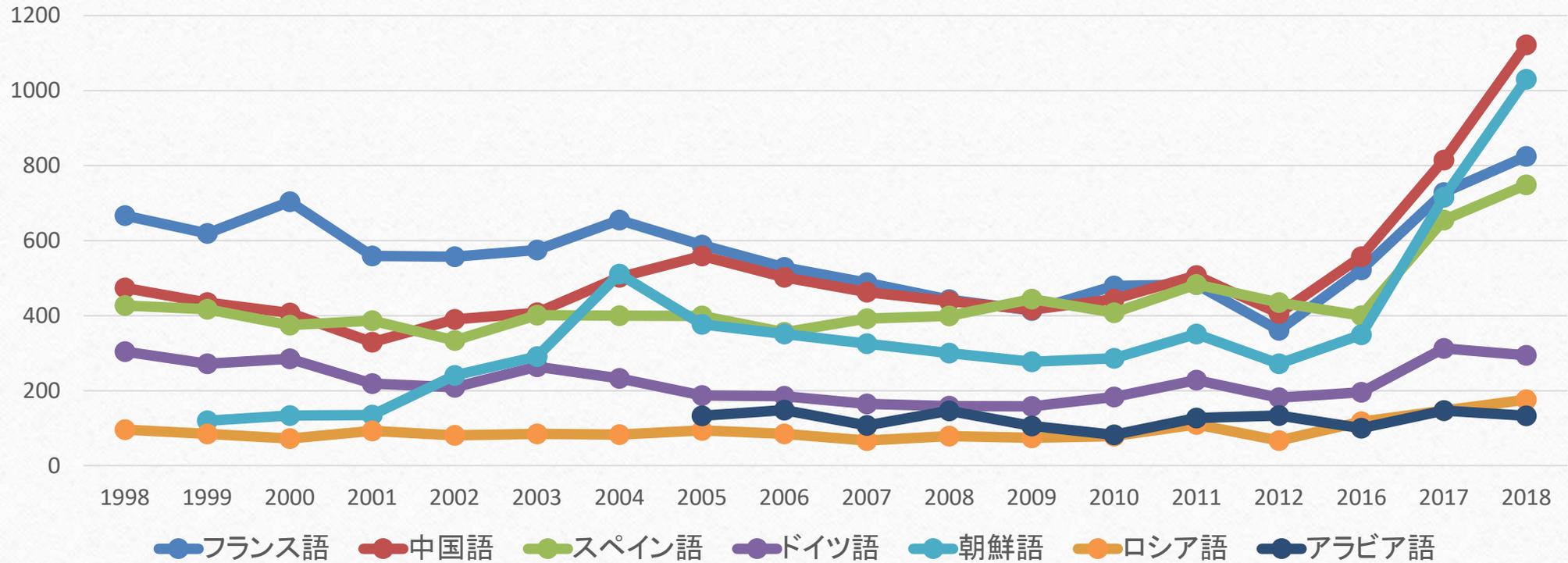
2. 教養外国語としてのフランス語

2. 1. 大学等における教養外国語



白井恵一、北山研二、「フランス語教育実状調査報告書」、日本フランス語フランス文学会、2012、p.8.

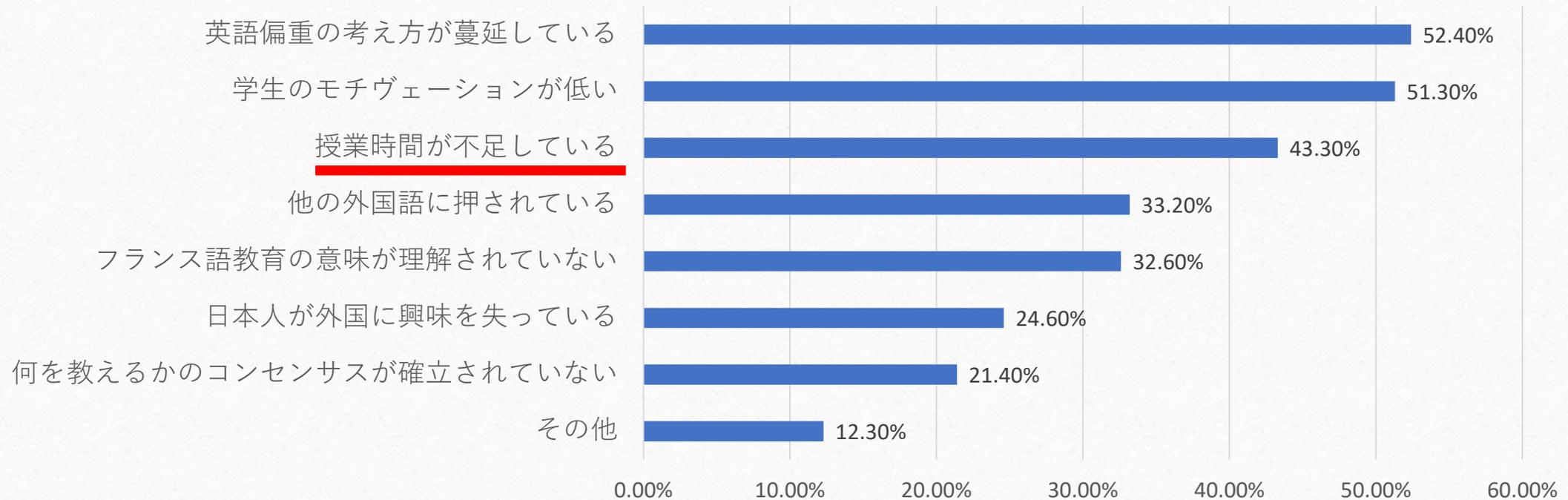
東京外国語大学の教養外国語（英語以外）



2013-15 学部改革に伴う統計資料の混乱

2. 2. 大学教員へのアンケート

フランス語教育が抱えている困難で大きな要因は何だとお考えですか。
(複数回答可) 187名の教員が回答

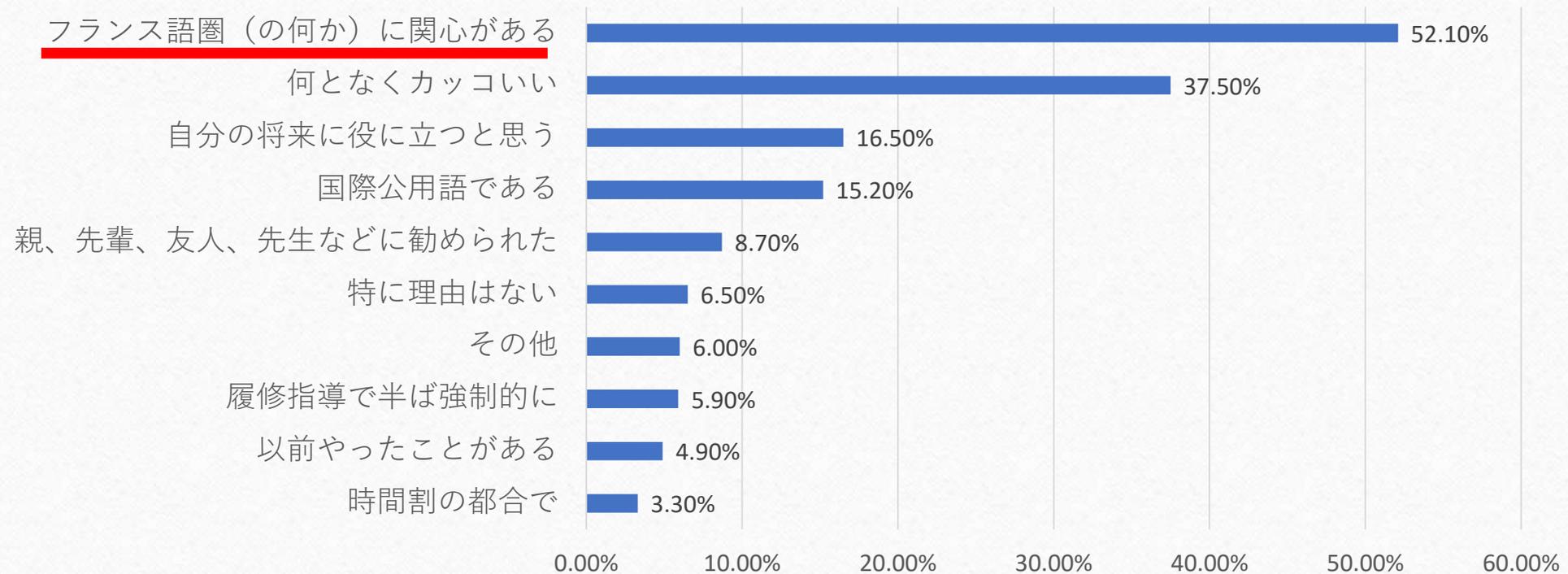


白井恵一, 北山研二, 「フランス語教育実状調査報告書」, 日本フランス語フランス文学会, 2012.

大学生へのアンケート

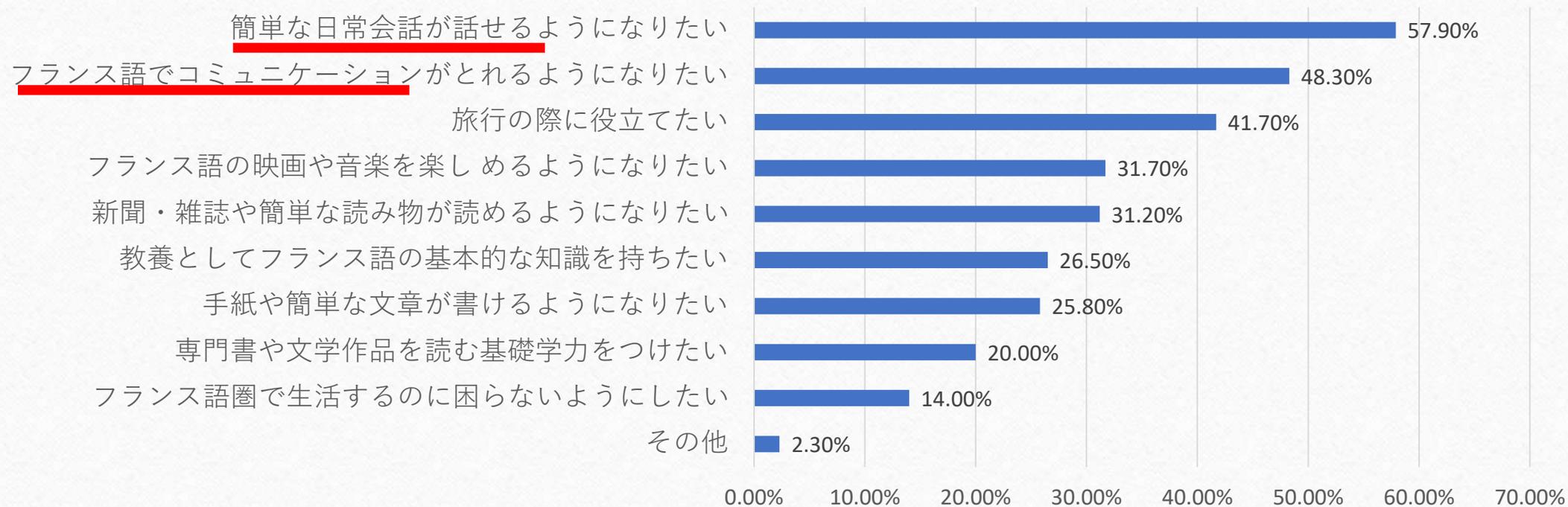
フランス語を選択した理由は何ですか。(複数回答可)

1331の有効回答



大学生へのアンケート

フランス語を学習してどのような方面の能力を身につけたいと 思っていますか。(複数回答可)



解決策はあるのか？

副教材の活用（自習可能型）

ニーズの実現（教師・学生両側）

教師側：授業時間が足りない(43.3%)

学生側：簡単な会話(57.9%)

コミュニケーション(48.3%)

2. 3. 1つの解決策

TUFS言語モジュールフランス語

27言語の簡単な会話を学ぶ

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/m/>



学生側：フランス語圏への関心

フランス語を学ぶ

学習項目

- 会話を学ぶ
- ケベックのフランス語会話を学ぶ
- スイスのフランス語会話を学ぶ
- 南仏のフランス語会話を学ぶ
- フランス語版
- 語彙を学ぶ

© 東京外国語大学



ケベックのフランス語

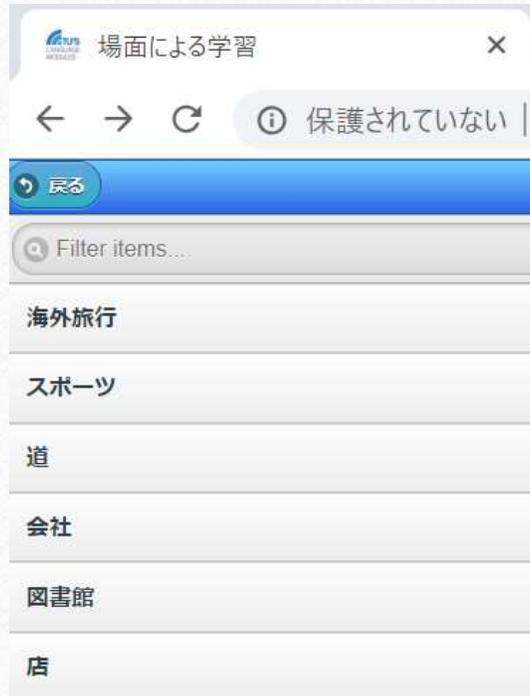
À tantôt じゃあまた



南仏のフランス語

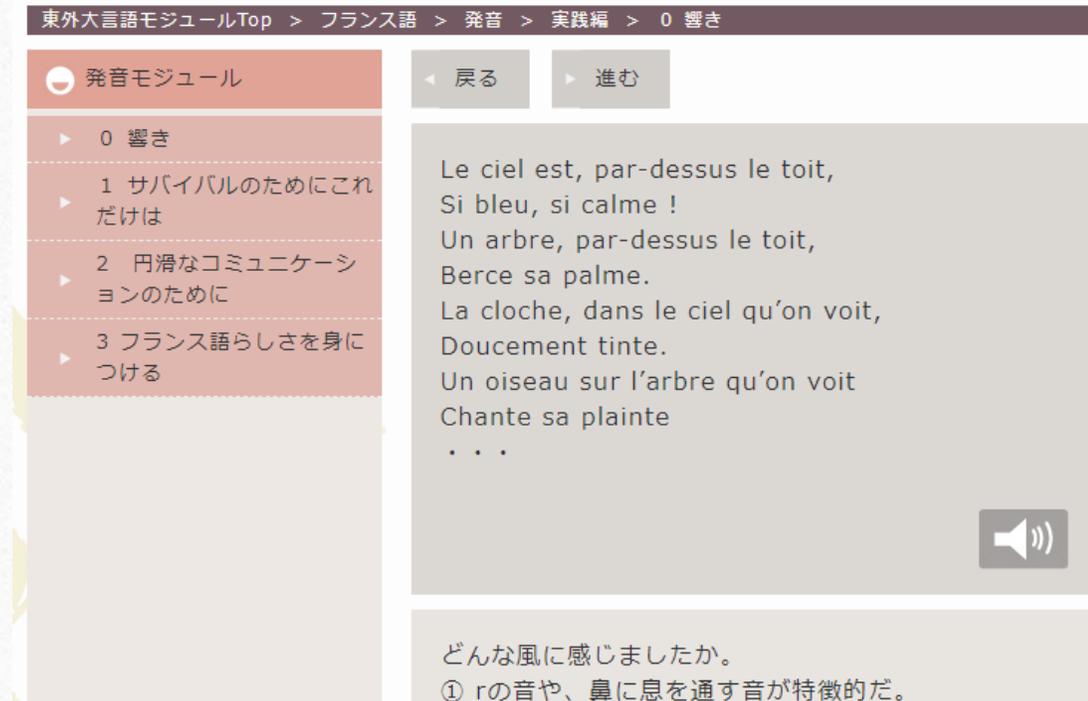
Adieu! 元気?

教師側：授業時間が足りない



語彙モジュール(約900語)

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/m/fr/vmod/>



発音モジュール(実践編と理論編)

<http://www.coelang.tufs.ac.jp/mt/fr/pmod/practical/>

3. フランス語による学术交流 —実践例—

3. 1. 留学：東京外国語大学の場合

長期留学の2つのタイプ

派遣留学： 大学が派遣し、学費は外語大に納める。

メリット： VISA・大学手続きが容易。

デメリット： 学費の納入義務がある。留学先を選べない。

休学留学： 個人でのCampus Franceを窓口とする留学。

メリット： 行先を自分で決められる。学費の納入義務がない。

デメリット： VISA・大学の手続きを個人が行う。

派遣留学先

フランス

パリ： パリ第3大学、パリ政治学院、INALCO、

パリ第7大学、パリ第10大学

パリ以外： ボルドー政治学院、エクスマルセイユ大学、
グルノーブルアルプ大学、リール大学

ベルギー： リエージュ大学

スイス： ジュネーヴ大学

カナダ・アフリカは英語圏のみ。

学内で TCF を実施し、その成績を選抜に利用。



SciencesPo



université
PARIS
DIDEROT



Aix-Marseille
université
Institutive d'excellence



Université
de Lille



UNIVERSITÉ
DE GENÈVE

留学の効果検証



- 学習者1は流暢さ以外が大きく進歩した。学習者1はフランス人の友達に囲まれて勉強した。
 - 学習者3は全体的に小さく進歩した。学習者3は、普段フランス語を話す機会はなかった。
 - 学習者2は流暢さが後退している。友達は外国人で、学校ではフランス人の友達ができなかった。
-
- 全体として発音能力が伸びている
 - ある程度、留学経験が言語能力の進歩につながっている

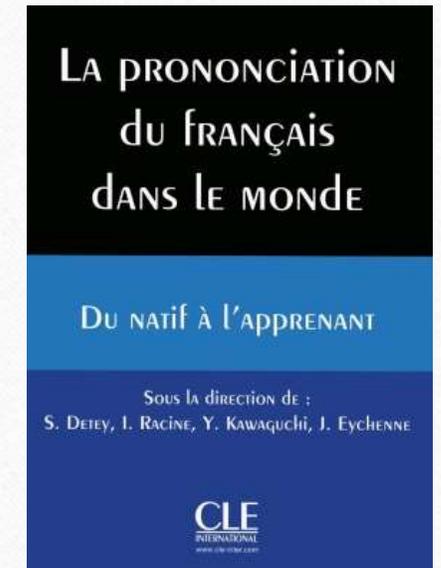
川口裕司,「初中級フランス語学習者のスピーキング能力とその進歩」,於西南学院大学, 2018年1月22日

3. 2. フランス語学習者言語プロジェクト

2008年 Detey, Sylvain, Kawaguchi, Yuji の Interphonologie du Français Contemporain (IPFC): récolte automatisée des données et apprenants japonais. Journées PFC: Phonologie du français contemporain: variation, interfaces, cognition. Paris, Dec. 11-13 から始まる。

2017年 *La prononciation du français dans le monde*, Sylvain Detey, Isabelle Racine, Yuji Kawaguchi, Julien Eychenne (eds.), CLE International, 2017 の成果を出版

2019年 『フランコフォンの世界 コーパスが明かすフランス語の多様性』、*Variétés du français parlé dans l'espace francophone*, Sylvain Detey, Jacques Durand, Bernard Laks, Chantal Lyche, Ophrys, 2010の日本語版。川口裕司, 矢頭典枝, 秋廣尚恵, 杉山香織 編訳, 三省堂。



3. 3. ふらんぼー Flambeau

- 東京外国語大学フランス語研究室により1973年創刊。
- これまでJoaquim Brandao de CARVALHO (パリ第8大学教授)、Marie-Rose SIMONI-AUREMBOU (CNRS主任研究員)、Claude COSTE (グルノーブル第3大学教授)、Frédéric SABIO (エクス・マルセイユ大学教授)等の海外研究者から特別寄稿があった。
- 2018年の43号からは東京外国語大学学術成果コレクションとしてデジタル出版になり、併せて英語による寄稿も増えた。



<http://repository.tufs.ac.jp/browse-jtitle>

最近の論文・研究ノートのテーマ

・言語分析

フランス語の長母音と位置の法則

ジェンダーの視点からみるケベック・フランス語の言語政策

・言語史

Pomme de terre “potato” in French

中期フランス語におけるmoultの衰退とbeaucoupの発達

・言語教育

初級フランス語におけるスピーキング能力可視化の試み

・文化表象

「民謡」の領有と表象としての「フランス国民」

・日本史

Aux sources e l'Histoire japonaise

東京外国語大学学術成果コレクション

Prometheus-Academic Collections

東京外国語大学
Tokyo University of Foreign Studies

課題

- ・著者の問題(大学研究室の雑誌のため制限される)
- ・査読者の問題(外部査読者へのお願い)
- ・CC-BY 規準でネット上公開(海外での認知度)



まとめ

- フランス語圏の魅力を若者に伝えること
- フランス語の魅力を広くアピールすること
英語一辺倒への批判、他の外国語との競争力を嘆くことは解決につながらない
- 学術交流は、まず大学時代の経験が重要＝留学等
フランスの大学留学のためのB2レベルは高すぎる
- 大学雑誌による学術交流の可能性

参照資料

- 「英語以外の外国語の科目を開設している学校の状況について」, 文部科学省教育課程部会外国語ワーキンググループ資料4, 2016.
- 「平成27年度高等学校等における国際交流等の状況について」, 文部科学省初等中等教育局国際教育課, 2015.
- 川口裕司, 「初中級フランス語学習者のスピーキング能力とその進歩」, 於西南学院大学, 2018年1月22日.
- 白井恵一, 北山研二, 「フランス語教育実状調査報告書」, 日本フランス語フランス文学会, 2012.
- 川口裕司, 矢頭典枝, 秋廣尚恵, 杉山香織編訳, 『フランコフォンの世界 コーパスが明かすフランス語の多様性』, *Variétés du français parlé dans l'espace francophone*, Sylvain Detey, Jacques Durand, Bernard Laks, Chantal Lyche, Ophrys, 2010の日本語版, 三省堂, 2019.
- 山崎吉朗, 橘木芳徳, 櫻木千尋, ジャン＝フランソワ・ロシヤール, 「中等教育におけるフランス語教育の活性化に関する実践報告 ―日仏高校交流ネットワーク”Colibri”について―」, *Revue japonaise de didactique du français* 2(1), 274-286, 2007.
- Detey, Sylvain, Kawaguchi, Yuji, «Interphonologie du Français Contemporain (IPFC): récolte automatisée des données et apprenants japonais». Journées PFC: Phonologie du français contemporain: variation, interfaces, cognition. Paris, Dec. 11-13, 2018.
- Detey Sylvain, Isabelle Racine, Yuji Kawaguchi, Julien Eychenne (eds.), *La prononciation du français dans le monde*, CLE International, 2017.
- Detey Sylvain, Isabelle Racine, Yuji Kawaguchi, Variation diatopique et continuum pédagogique multimédia : du lexique québécois à la phonologie suisse, *Variétés, variations & formes du français*, Olivier Bertrand et Isabelle Schaffner (dir.), 2011, 427-448.

ご清聴ありがとうございました

本報告は、日本学術振興会学術システム研究センターの学術研究動向等に関する調査研究「人文学の分野に関する学術研究動向及び学術振興方策－人文学分野(とくに言語学)における多言語試料データの現状と展開－」の成果です。